

たいしょうみんなの食堂について

2025 年 11 月

大阪きづがわ医療福祉生活協同組合

組合員活動部 石村直志

子ども食堂を行い始めた経緯

2016 年 10 月に鶴町地域のお母さんたちと地域の子どもの状況について懇談しました。

夏の暑い夜、公園で親が帰ってくるのを待っている。ひとり親家庭で学校へ行けていない。夕食はお金をもらって自分たちで食べている。朝起きることができず、定時に学校へ行けないなどなど・・・。

懇談する中で地域の子どもの様子が少しずつ見えてきました。

私たちは地域まるごと健康づくり・まちづくりを大きな理念として活動しています。地域の医療福祉生協の組合員さんの力もお借りしながら、取り組むべき課題だと確認して 12 月から鶴町地域で子ども食堂を始めました。

以降、組合員の方のご自宅を使わせていただきながら月 1 回、鶴町では 2020 年 1 月（コロナ直前）まで行いました。

再開～現在

2022 年に食材配布という形で再開し、計 4 回行って 133 世帯に食材を配布しました。食材はパルコープさんや組合員さんからの寄付、援助金などを活用しました。

2023 年には実行委員会形式（組合員・医療福祉生協の職員・地域の団体など）で集まって食べる形の子ども食堂を再開しました。

その際、開催の目的を相談して「子どもたちやおとなにとっても安心して過ごし、交流できる時間と場所をつくる」ということにしました。

しばらくは 2 ヶ月に 1 回の開催というペースで行っていましたが、実行委員さんから「やはり毎月やる方が良いのではないか」との声もあり、2025 年 5 月からは月に 1 回、10 月から平日の夕方にも行うようになり月 2 回の開催となりました。

おとなの方にも気軽に参加してほしいという思いも込めて、名称も「たいしょう子ども食堂」から「たいしょうみんなの食堂」に変更しました。

課題

地域の子どもの案内が届ききれていないのではないかな。

会場

大正晴ればれ（小林西 2 丁目 3-14）

運営費

地域の組合員さんからのカンパ（食材含む）、参加費（こども 100 円・おとな 300 円）、援助金など

運営方法

月 1 回の実行委員会で食事内容や当日のボランティアなど相談

開催日

月 2 回開催。平日の夜と日曜日のお昼

周知方法

医療福祉生協の機関紙、地域のお店の店舗内での掲示やチラシ設置、学校から保護者の方へおしらせ
その他、医療福祉生協や実行委員の SNS など

* 現在、より多くの方に周知を広げていきたいと相談しながらすすめているところです。

**地域のお母さんたちと始まった
鶴町子ども食堂（2016年～2020年1月）**



診療所の駐車場を使って食材配布



クリスマス子ども食堂 2023



クリスマスの子ども食堂
ダンボールツリーでお出迎え



**最近始めた
夜の部の様子**



たいしょうみんなの食堂マスコットキャラクター おさる5兄弟